

第1回脳科学研究倫理審査委員会 議事録

1. 開催日時：平成19年5月8日（火） 18:00-20:30
2. 開催場所：JST東京本部 10階 役員会議室
3. 出席委員：杉下委員長、浅川委員、臼井委員、田中委員、二木委員、武藤委員、谷田部委員
(委員 50音順)

4. 議題

1) ERATO 浅田プロジェクト「人とロボットのコミュニケーション発達原理の解明」

概要；注視行動や接触行動のような非言語行動を伴うコミュニケーション場面を取り上げ、ロボットをどのように振舞わせれば、人とのコミュニケーションあるいはそのためのロボットの発達を可能にするかについて検討するため、本研究では

- (1) 人の視線の動きに対するロボット／人の視線の動かし方
- (2) 人の接触に対するロボット／人の全身運動反応
- (3) 相手の発話や運動に対するロボット／人の模倣の仕方について検討する。

結果；以下の項目について申請書の修正を求めること、および次回の委員会において修正された申請書に基づき継続審議を行うこととした。

- ・申請書；被験者及び被験者を選ぶ際の基準、対象人数および収集の方法・手順、謝礼、個人情報収集する場合の匿名化の方法、データの保管および廃棄の方法。
- ・説明書；予測される被験者およびそれ以外の人への利益。
- ・同意書・同意撤回書；外部発表での映像・画像の使用許諾に関する同意書」および「同・同意撤回書」を添付すること。

2) ERATO 浅田プロジェクト「乳幼児の協調的動作生成に関する認知発達の観測」

概要；乳幼児における自己の身体能力が拡張される過程で外部環境との協調や共鳴が行動上どのように作用するのかを明らかにするため、以下の実験を被験者の発達段階に応じて段階的かつ縦断的に実施する。

- (1) 基本運動技能の発達測定
- (2) リズム運動課題
- (3) やりとり遊び課題

結果；説明および質疑応答に基づき、以下の項目について申請書の修正を求めることおよび次回の委員会において修正された申請書に基づき継続審議を行うこととした。

- ・申請書；対象人数および収集の方法・手順、謝礼、インフォームド・コンセントの方法、個人情報収集する場合の匿名化の方法、等
- ・説明書；得られたデータの使用方法、等

3) ERATO 浅田プロジェクト「遅延聴覚フィードバックを用いた発話の自己モニタリング機構の検討」

概要；聴覚フィードバックは音声生成において重要な役割を担っており、フィードバックを人工的に遅らせて聴かせる遅延聴覚フィードバック (DAF) 条件下では吃音症状が発生することが知られる。本実験は、DAF 条件下での言い誤りを分析し、発話の自己モニタリング機構の特性を明らかにすることを目的とする。

結果；説明および質疑応答に基づき、以下の事項について申請書の修正を求めることおよび次回の委員会において修正された申請書に基づき継続審議を行うこととした。

- ・申請書；実験の意義及び目的、対象人数、個人情報管理者
- ・説明書；予測される被験者及びそれ以外の人への利益

以上

平成19年5月8日

脳科学研究倫理審査委員会の構成

委員長	杉下 守弘	財団法人脳血管研究所 教授
委員	浅川 茂樹	独立行政法人理化学研究所 安全管理部研究倫理課
委員	臼井 勲	独立行政法人科学技術振興機構 審議役
委員	田中 里枝	独立行政法人科学技術振興機構 岩田プロジェクト技術参事
委員	内藤 貞夫	内藤貞夫法律事務所 弁護士
委員	二木 宏明	埼玉工業大学大学院人間社会研究科 研究科長
委員	武藤 香織	東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 准教授
委員	谷田部 雅嗣	日本放送協会 解説委員

(委員 五十音順)